

4. 道路問題

嘗て、野寺の住民だった僕にとって、保谷・朝霞線の問題は見過ごせない大問題です。五中の脇にあった我が家も道路建設用地内にありました。野寺・道場地区はこの道路によって、生活圏が分断され、騒音や振動、排気ガスに半永久的に悩まされることとなります。市長は繰り返し、調布・保谷線(36m)の「受け皿論」を展開していますが、県境で受けようが、バス通りで受けようが、産業道路で受けようが、地域の住民は同じ苦しみを味わうこととなります。放射7号の完成によって、車の流れが分散されることも考えられるのですから、新座市民の命と暮らしを考えるのなら、県境で受けておくのが現状ではベストではないでしょうか。この道路は県道なのに埼玉県は野寺地区では市に五分の一を負担すること。いなげや前から産業道路までの道場地区では市が全額負担すること。いなげやから栗原の交差点までの県道は市道にすることなどを条件にしているのです。県道から市道になれば、数千万円という維持補修費をこれから毎年新座市が負担しなくてはなりません。こんな馬鹿な計画はないでしょう。現在進められている東久留米・志木線(1440mで54億)はたった数人の地権者の反対によって5年で完成する予定が、さらに最短でも5年以上かかることが分かっています。住民の7割以上が反対している保谷・朝霞線では、それ以上の反発があるのには目に見えています。財政難だと言いながら、住民が望まない大型道路を作っていくのはおかしい。語る会はこれからもそう訴えていきます。



テニスの市民大会。女子団体が優勝した教え子たち。中学生も上手くなっていったけど、おばさん達もかなり上手になりました。指導者がいれいせいかな？

一生懸命

担任として書いた「一生懸命」は20年間で3000号以上。後半の11年は毎日発行していましたから、我ながらよ「続いたものだと思います。議員として書いてこの「一生懸命」は6年目でやっと50号になろうとしています。この4年間は毎月発行しているのですが、書きたいことが多すぎて、書ききれない状態です。ありがたいのは、楽しみにしているよ！」と言ってくれる人がいること。これは学校時代と同じですね。感謝！



八石小学校の運動会で、川掃除の仲間とのスナック。二人とも、朝のひばりが丘駅で出会いました。僕の「一生懸命」を読み、川掃除に参加してくれたのです。今では家族ぐるみの付き合いになりました。

たかやんのプロフィール

本名たかむらともや。東京都新宿区生まれ。新宿区立西戸山中学、都立石神井高校を経て北海道大学へ。1977年から教師として五中・六中・二中で21年間を過ごし98年退職。04年の選挙で初当選。どの政党にも、どの会派にも属せず一人会派「語る会」で、しがらみのない発言をし続けている。新堀・石神「たかやん塾」塾長。障がい者支援団体「よこ糸をつむぐ会」メンバー。黒目川川づくり懇談会代表。石神3丁目在住。趣味はテニス・サッカー・囲碁・将棋・音楽・読書。六中硬式テニス部を率いて、関東大会5回、全国大会2回優勝。同時に学級通信「一生懸命」を10年間1度も休むことなく発行。ご感想・ご意見・ご提案をお待ちしています。 たかやん



たかやんの連絡先

自宅 042-456-8869

携帯 090-6497-5737

mail: takayanchan@jcom.home.ne.jp

〒352-0033 新座市石神3-19-32-106